

ネットワーク通信

発行：JAL 争議支援全国ネットワーク事務局

連絡先 E-mail: Tokyo_renraku@fight.chips.jp

全国ネットワークを立ち上げる！

5月6日、「JAL 不当解雇撤回闘争支援東京連絡会」主催の「全国 JAL 争議支援者交流会」が開かれ全国各地から多数の参加がありました。

会場は参加者でいっぱいとなり、活発で熱気溢れる議論の中、「JAL 争議支援全国ネットワーク」を結成することが満場一致で確認されました。これまで全国各地で取り組まれていた行動を、今後は全国ネットワークとしてつながり展開されていきます。

交流会の概要

- ◆冒頭、兵頭共同代表のメッセージが代読された後、争議団からの挨拶、JAL 被解雇者労働組合からの争議の現状報告に続き、事務局から本日の会の趣旨説明がされました。
- ◆各地で支援行動を行っている団体を代表して、四団体(福岡・岡山・徳島・茨城)から、この間の取り組みの報告や今後の方針、争議に対する思いと決意などの報告がありました。
- ◆釧路、秋田、仙台、静岡神奈川、東京からも、会社に迫る取り組みへの希望、国鉄闘争を教訓にしたアドバイス、「全国ネットワーク」結成にあたり質問・要望の意見等々が出されました。
- ◆最後に JHU 山口委員長の団結ガンバローで、争議の早期全面解決を参加者全員で決意しました。
- ◆その後、場所を移しての交流会を行いました。

6/3 JAL 本社へ初の要請行動 (JAL 争議支援全国ネットワーク) ←

全国ネットワークの初めての行動として、JAL 本社への要請行動が行われました。大勢の仲間が見守る中、総務と思われる 2 名の方が対応しました。予め、鳥取社長、斎藤副社長、青木副社長に要請文を送付していたことは対応した方にも共有されていたようですが、「建物の中ではルールで要請は受けない。外で」「これだけの人数で押しかけられたら一つの暴力行為だ」等々と発言し、建物内での要請を拒否しました。そのため、全国ネットワークは要請を中止し、会社が真摯に争議解決を考える姿勢を示すまで要請を続けていくことを伝えました。←



要請行動前段の、スカイウォークでの、宣伝行動で各地から駆けつけて下さった皆さんが、←
早期全面解決を目指し熱く訴え！ ←

6/24 日本航空第76回株主総会報告

6月24日、東京ガーデンシアターで株主総会が行われ、動議も含めて16名の株主が指名され発言しました。例年と違い、人材確保や安全問題など、現場の労働者を大切にする経営を求める発言が多く、株主からありました。解雇争議についてはJHU山口委員長はじめ5名が発言し、鳥取社長は、「真摯にコミュニケーションを取って話し合いを続けていきたい」と述べました。本当かなあ？(何度も同じことは言っているのではないか)

争議団からも発言し、会社の姿勢を追及してきました。(JHU NEWS No159参照)

株主総会での株主への訴え



株主総会に先立ち、会場に向かう株主の皆様へ解雇争議解決へのご理解を訴えました。多くの皆様がチラシを手にしてご覧になっていました。総会終了後には、数人の方が話しかけて下さいました。

羽田空港スタンディング行動

今年で、御巣鷹山事故から40年を迎えます。私たちは今一度「空の安全」とは、日本航空に訴えていきたいと考えます。

8月11日(月) 12時～13時

第一ターミナルビル1階到着ロビー外側通路

[編集後記]

全国ネットワークが結成されて、はや二ヶ月が経ってしまいました。頭ではいろいろと考えているところです。この異常気象も影響しているのかなあと感じています。

さて、7月26日の第2回運営会議に一人でも多く参加をお願いいたします。酷暑でリモートでの参加も理解しますが、できるのであれば「生の声」を聞いて、議論した方がより分かりやすいかなあと思います。

現在、共同代表と事務局で労働組合と支援者団体への、全国ネットワーク結成のあいさつ周りをしています。数が多くまだまだですが、何とかやり切りたいと思います。

一日も早く、争議の全面解決目指し、皆様のお力を争議団にお願いいたします。(峰岸)